

事務連絡
令和7年7月31日

各都道府県建設業協会
事務局 御中

一般社団法人全国建設業協会
労働部

「建設業従事者の出産・育児・介護と仕事の両立」に関する
アンケート調査への協力依頼について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本会の活動に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、全建では、令和7年3月14日付けで国土交通省及び本会を含めた建設業7団体等の共同で策定いたしました「建設産業における女性活躍・定着促進に向けた実行計画～トップの意識を変えて、現場が変わる。担い手確保につなぐ、全ての人が働きやすく働きがいのある魅力ある建設産業の実現へ～」を踏まえ、本会における「地域建設業における女性活躍・定着促進に向けたロードマップ」を策定し、各都道府県建設業協会並びに貴会会員企業の皆様におかれましては、本ロードマップを踏まえたより一層の取組・推進にご協力ご尽力いただいているところです。

そのような中、今般、国土交通省不動産・建設経済局建設振興課より「妊娠中や育児中の働き方の相談が柔軟にできる環境づくり、仕事と育児・介護等の両立がしやすい職場環境整備の促進に向けた建設産業における出産・育児・介護等の実態把握」を目的としたアンケート調査の実施について、協力依頼がありました。

つきましては、大変恐れ入りますが、貴会会員企業の方々に対し、本調査をご周知いただき、調査へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今回の調査対象としましては、会員企業にお勤めの「従業員」となります。

なお、回答方法につきましては、8月27日（水）の12：00までに次の【アンケートフォーム】（Web調査）の設問よりご回答いただきますようお願い致します。

【アンケートフォーム】<https://forms.office.com/r/DHxiMbJcXi?origin=lprLink>
※結果につきましては、国土交通省、女性定着支援ネットワーク事務局で集計し、柔軟な働き方のできる環境整備に向けた資料等に活用されます。また、いただいたご回答を踏まえ、ご回答者様に対して個別のヒアリングをお願いする場合もあるということですので、あらかじめご承知おきください。

（担当：労働部 山崎（直）、浜崎）

調査内容		回答方式		
カテゴリ	調査項目	回答例		
属性	1 性別	①男性 ②女性 ③その他 ④回答不可	選択式	
	2 年齢層	①19歳以下 ②20歳～24歳 ③25歳～29歳 ④30歳～34歳 ⑤35歳～39歳 ⑥40歳～44歳 ⑦45歳～49歳 ⑧50歳～54歳 ⑨55歳～59歳 ⑩60歳以上	選択式	
	3 業務内容 (最も比重の高い業務を選択してください。)	①施工管理(現場監督等) ②施工管理補助(工事書類作成等、主な建設ディレクター業務を含む) ③建設現場作業関係(造園工などの建設技能者等) ④設計精算関係 ⑤営業関係 ⑥技術開発関係 ⑦事務関係(総務・経理・人事等) ⑧その他(具体的に記入)	選択式	
会社情報	4 会社名	●●株式会社	自由記述	
	5 所在地	47都道府県選択式	選択式	
	6 就業者数	①1人 ②2～9人 ③10人～29人 ④30～99人 ⑤100～499人 ⑥500～999人 ⑦1,000人以上	選択式	
出産・育児・ 介護について	会社の制度 への理解、 ロールモデル の存在	7 貴社では、出産・育児・介護をする人にとって働きやすい環境づくりや、産前産後休業/休暇・育児休業/休暇・介護休業/休暇の取得促進に取り組む担当部署や担当者はありますか。	①部署がある/担当がいる ②部署がない/担当はいない	選択式
		8 貴社における、出産・育児・介護をする従業員への支援制度や休暇制度について概要を理解していますか。	①理解している ②部分的には理解している ③理解していない	選択式
		9 貴社における、出産・育児・介護をする従業員への支援制度や休暇制度について、会社から説明を受けたことがありますか。	①説明を受けたことがある(資料配付、eラーニング等を含む) ②説明を受けたことがない	選択式
		10 同じ(もしくは類似の)職種で、出産・育児・介護と仕事を両立させている相談相手やロールモデル(先輩職員等)はいますか。	①いる ②いない	選択式
	出産育児 経験	11 出産・育児の経験はありますか。 ※いずれかの経験があればあるとご回答ください。※男性の場合は、育児として回答ください。 ※過去に出産・育児の経験があるが今は携わっていない場合(お子様は独立された等)、本設問には「今は継続していない」とご回答のうえ、以降の質問は、経験されていた当時の内容をご回答ください。	①出産・育児の経験があり、今も継続中 ②出産・育児の経験があり、今は継続していない ③ない	選択式
		12 #11で①～②を選択した場合、 産前産後休業/休暇を取得したことはありますか。 ※男性の場合は、産後パパ育児(出生時育児休業)として回答ください。	①ある ②ない	選択式
		13 #12で①を選択した場合、 一番長く取得した休暇の取得日数を教えてください。 ※一度の出産に対して取得した産前産後休業等の合計日数をご回答ください。	①1か月未満 ②1か月以上～2か月未満 ③2か月以上～14週未満 ④14週以上	選択式
		14 #12で②の場合、 休暇を取得しなかった理由を教えてください。	①取得する必要がなかったから ②取得したかったが、取得できない/しづらい環境だったから ③取得したかったが、制度をよく知らなかったから ④その他(具体的に記入)	選択式
		15 #11で①～②を選択した場合、 育児休業/休暇を取得したことはありますか。	①ある ②ない	選択式
		16 #15で①の場合、 一番長く取得した休暇の取得日数を教えてください。 ※一度の育児に対して取得した育児休業等の合計日数をご回答ください。	①1日 ②2日～1週間未満 ③1週間～1か月未満 ④1か月～3か月未満 ⑤3か月～6か月未満 ⑥6か月～1年未満 ⑦1年以上	選択式
17 #15で②の場合、 休暇を取得しなかった理由を教えてください。		①取得する必要がなかったから ②取得したかったが、取得できない/しづらい環境だったから ③取得したかったが、制度をよく知らなかったから ④その他(具体的に記入)	選択式	

18	#11で①～②を選択した場合、出産・育児を経験する前は、どのような業務に従事していましたか。 ※最も比重の高い業務を選択してください。	①施工管理（現場監督等） ②施工管理補助（工事書類作成など建設ディレクター業務を含む） ③建設現場作業関係（造園工などの建設技能者等） ④設計積算関係 ⑤営業関係 ⑥技術開発関係 ⑦事務関係（総務・経理・人事等） ⑧その他（具体的に記入）	選択式
19	業務内容の詳細（前問で③を選択した場合）	①普通作業員、軽作業員 ②造園工 ③法面工 ④とび工 ⑤石工、ブロック工 ⑥電工 ⑦鉄筋工、鉄骨工 ⑧塗装工、溶接工 ⑨運転手（特殊）、（一般） ⑩潜かん工、潜かん世話役 ⑪さく岩工 ⑫トンネル工（特殊工、作業員、世話役） ⑬橋梁工（特殊工、塗装工、世話役） ⑭土木一般世話役 ⑮船員（高級、普通） ⑯潜水士、潜水連絡員、潜水送気員 ⑰山林砂防工 ⑱軌道工 ⑲型枠工 ⑳大工 ㉑左官 ㉒配管工 ㉓はつり工 ㉔防水工 ㉕板金工 ㉖タイル工、サッシ工、ガラス工、建具工	選択式
20	#11で①～②を選択した場合、出産後の育児中は、どのような業務に従事していましたか。 ※最も比重の高い業務を選択してください。	①施工管理（現場監督等） ②施工管理補助（工事書類作成など建設ディレクター業務を含む） ③建設現場作業関係（造園工などの建設技能者等） ④設計積算関係 ⑤営業関係 ⑥技術開発関係	選択式
21	業務内容の詳細（前々問で③を選択した場合）	①普通作業員、軽作業員 ②造園工 ③法面工 ④とび工 ⑤石工、ブロック工 ⑥電工 ⑦鉄筋工、鉄骨工 ⑧塗装工、溶接工 ⑨運転手（特殊）、（一般） ⑩潜かん工、潜かん世話役 ⑪さく岩工 ⑫トンネル工（特殊工、作業員、世話役） ⑬橋梁工（特殊工、塗装工、世話役） ⑭土木一般世話役 ⑮船員（高級、普通） ⑯潜水士、潜水連絡員、潜水送気員 ⑰山林砂防工 ⑱軌道工 ⑲型枠工 ⑳大工 ㉑左官 ㉒配管工 ㉓はつり工 ㉔防水工 ㉕板金工 ㉖タイル工、サッシ工、ガラス工、建具工	選択式
22	育児中の職場復帰に際してどのような制度を活用しましたか。	①時短勤務制度を利用した ②フレックス制度を利用した ③時差出勤制度を利用した ④残業の免除又は制限してもらった ⑤朝礼の免除又は代替措置を取ってもらった ⑥制度を利用しなかったが、利用できる状況ではなかった（延長保育や両親に協力を得るなどして対応した） ⑦制度を利用する必要がなかった ⑧その他（具体的に記入）	選択式※複数選択可能

出産育児に関する会社の制度、取組の実態	23	出産・育児をする人にとって働きやすい環境づくりや休暇の取得促進に向けた社内制度・取組は、貴社において活用されていると感じますか。	①十分に活用されている ②知られているが、十分に活用されていない ③活用されていない ④制度がない	選択式
	24	#23で①～③の場合、具体的にどのような制度・取組がありますか。	①現場や現場付近に託児施設を設置している ②シッター補助、保育園延長補助等、休暇取得者への金銭的補助がある ③休暇取得者のフォローをする者へのインセンティブがある（金銭面/評価面等） ④時短勤務、フレックス等、勤務時間に関する制度がある ⑤在宅勤務、朝礼への参加免除等、勤務形態や業務遂行方法に配慮がある ⑥勤務地に関する配慮がある ⑦業務内容への配慮がある（例：出産前は現場で働いていたが、育児後、設計部門へ異動等） ⑧会社として休暇が取りやすくなるよう、研修やパンフレット等で意識啓発・周知を図っている ⑨その他（具体的に記入）	選択式※複数選択可能
	25	どのような制度・取組があれば、より出産・育児をする人にとって働きやすい環境づくりや、休暇の取得が促進されると考えますか。 ※実際に出産・育児と仕事の両立を経験された方については、あなた自身がよかったと感じたことも含めてご回答ください。	①現場や現場付近に託児施設を設置している ②シッター補助、保育園延長補助等、休暇取得者への金銭的補助がある ③休暇取得者のフォローをする者へのインセンティブがある（金銭面/評価面等） ④時短勤務、フレックス等、勤務時間に関する制度がある ⑤在宅勤務、朝礼への参加免除等、勤務形態や業務遂行方法に配慮がある ⑥勤務地に関する配慮がある ⑦業務内容への配慮がある（例：出産前は現場で働いていたが、育児後、設計部門へ異動等） ⑧会社として休暇が取りやすくなるよう、研修やパンフレット等で意識啓発・周知を図っている ⑨その他（具体的に記入）	選択式※複数選択可能
介護経験	26	介護の経験はありますか。	①ある ②ない	選択式
	27	#26で①の場合、介護休業/休暇を取得したことはありますか。	①ある ②ない	選択式
	28	#27で①の場合、一番長く取得した休暇の取得日数を教えてください。 ※一度の介護に対して取得した介護休業等の合計日数をご回答ください。	①1日 ②2日～1週間未満 ③1週間～1か月未満 ④1か月～2か月未満 ⑤2か月～93日未満 ⑥93日以上	選択式
	29	#27で②の場合、休暇を取得しなかった理由を教えてください。	①取得する必要がなかったから ②取得したかったが、取得できない/しづらい環境だったから ③取得したかったが、制度をよく知らなかったから ④その他（具体的に記入）	選択式
	30	#27で①の場合、介護を経験する前は、どのような業務に従事していましたか。 ※最も比重の高い業務を選択してください。	①施工管理（現場監督等） ②施工管理補助（工事書類作成など建設ディレクター業務を含む） ③建設現場作業関係（造園などの建設技能者等） ④設計積算関係 ⑤営業関係 ⑥技術開発関係 ⑦事務関係（総務・経理・人事等）	選択式
	31	業務内容の詳細（前々問で③を選択した場合）	①普通作業員、軽作業員 ②造園工 ③法面工 ④とび工 ⑤石工、ブロック工 ⑥電工 ⑦鉄筋工、鉄骨工 ⑧塗装工、溶接工 ⑨運転手（特殊）、（一般） ⑩潜かん工、潜かん世話役 ⑪さく岩工	選択式
	32	#27で①の場合、介護経験中は、どのような業務に従事しましたか。 ※最も比重の高い業務を選択してください。	①施工管理（現場監督等） ②施工管理補助（工事書類作成など建設ディレクター業務を含む） ③建設現場作業関係（造園などの建設技能者等） ④設計積算関係 ⑤営業関係	選択式

		33	業務内容の詳細（前問で③を選択した場合）	①普通作業員、軽作業員 ②造園工 ③法面工 ④とび工 ⑤石工、ブロック工 ⑥電工 ⑦鉄筋工、鉄骨工 ⑧塗装工、溶接工 ⑨運転手（特殊）、（一般） ⑩潜かん工、潜かん世話役 ⑪さく岩工	選択式
		34	介護中の職場復帰に際してどのような制度を活用しましたか。	①時短勤務制度を利用した ②フレックス制度を利用した ③時差出勤制度を利用した ④残業の免除又は制限してもらった ⑤朝礼の免除又は代替措置を取ってもらった ⑥制度を利用したかったが、利用できる状況ではなかった（親戚に協力を得るなどして対応した） ⑦制度を利用する必要がなかった ⑧その他（具体的に記入）	選択式※複数選択可能
介護 会社の実態		35	介護をする人にとって働きやすい環境づくりや休暇の取得促進に向けた社内制度・取組は、貴社において活用されていると感じますか。	①十分に活用されている ②知られてはいるが、十分に活用されていない ③活用されていない ④制度がない	選択式
		36	#35で①～③の場合、具体的にどのような制度・取組がありますか。	①休暇取得者への金銭的補助がある ②休暇取得者のフォローをする者へのインセンティブがある（金銭面・評価面等） ③時短勤務、フレックス等、勤務時間に関する制度がある ④在宅勤務、朝礼への参加免除等、勤務形態や業務遂行方法に配慮がある ⑤勤務地に関する配慮がある ⑥業務内容への配慮がある（例：介護前は現場で働いていたが、育児後、設計部門へ異動等） ⑦会社として休暇が取りやすくなるよう、研修やパンフレット等で意識啓発・周知を図っている ⑧その他（具体的に記入）	選択式※複数選択可能
		37	どのような制度・取組があれば、より介護をする人にとって働きやすい環境づくりや、休暇の取得が促進されると考えますか。 ※実際に介護と仕事の両立を経験された方については、あなた自身が良かったと感じたことも含めてご回答ください。	①休暇取得者への金銭的補助がある ②休暇取得者のフォローをする者へのインセンティブがある（金銭面・評価面等） ③時短勤務、フレックス等、勤務時間に関する制度がある ④在宅勤務、朝礼への参加免除等、勤務形態や業務遂行方法に配慮がある ⑤勤務地に関する配慮がある ⑥業務内容への配慮がある（例：介護前は現場で働いていたが、介護休暇後、設計部門へ異動等） ⑦会社として休暇が取りやすくなるよう、研修やパンフレット等で意識啓発・周知を図っている ⑧その他（具体的に記入）	選択式※複数選択可能
ジェンダー主流化		38	ジェンダー主流化について伺います。 貴社において働く上で、男女で異なる課題やニーズを踏まえ、それらに対応されていると思いますか。 ※「ジェンダー主流化」とは、社会的・文化的な性差（ジェンダー）の平等実現を目的として、男女で異なる課題やニーズを踏まえて、それぞれに対応して、あらゆる事業などを立案・実行していくこと。 （例：男女の体格差に着目し、電動スクーターの開発に当たり、一般的に手の小さい女性にとっても握りやすく、より安全かつ簡単なブレーキを導入する等）	①対応されていると思う ②現状では対応されていないが、今後対応が進むと思う ③現状では対応されておらず、今後も対応は進まないと思う ④わからない	選択式
		39	#38で①の場合、具体的に、どのような点で対応されていると思いますか。	①現場の快適なトイレ・更衣室整備等、設備面での対応 ②育児休暇の取得奨励等、福利厚生面での対応 ③機材や装備のサイズを多様化する等、機器面での対応 ④その他（具体的に：）	選択式
		40	#38で②の場合、具体的に、どのような対応が進むと思いますか。	①現場の快適なトイレ・更衣室整備等、設備面での対応 ②育児休暇の取得奨励等、福利厚生面での対応 ③機材や装備のサイズを多様化する等、機器面での対応 ④その他（具体的に：）	選択式
		41	#38で③の場合、具体的に、なぜ対応が進まないと思いますか。	①ニーズはあるが、対応するほどではないという認識があるから ②ニーズがないから ③その他（具体的に：）	選択式
	追加ヒアリング		42	国土交通省では、出産・育児、介護と両立した働き方の優良事例・モデル等を示したいと考えており、国土交通省又は同省から業務委託を受けた業者から、追加ヒアリングのお願い等をお願いさせていただくことは可能でしょうか。	①可能 ②不可能
		43	#42で①の場合、追加ヒアリング実施にあたりご連絡をさせていただく可能性がございます。お名前の記載をお願いいたします。		自由記述
		44	#42で②の場合、追加ヒアリング実施にあたりご連絡をさせていただく可能性がございます。ご連絡可能なメールアドレスの記載をお願いいたします。		自由記述